

きいて・めもして・こたえよう

プールの 安全の きまり

なまえ
名前

聞くめあて 「きまり」と「その理由」を、番号をつけてメモしましょう。

①

②

③

④

⑤

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) プールサイドを 走らないのは、なぜですか。あう ものに ○を つけましょう。

ア すべって 大きな けがに なるから

イ うるさいから

ウ 水が へるから

(2) プールに 入る 前に、しっかり する ことは 何ですか。

(3) 急に つめたい 水に 入ると、体は どう なる ことが ありますか。あう ものに ○を つけましよう。

ア 足が つる

イ ねむく なる

ウ おなかが すく

(4) 先生の ふえが 何回 鳴ったら、プールから 上がりますか。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする (問題を先に見せない)。
- ② この放送文を先生が読む (または用意した音声流す)。**読む回数：2回**。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

プールの じゅぎょうを 始める 前に、安全の きまりを 三つ 話します。理由も いっしょに おぼえましょう。

一つ目。プールサイドは 走りません。ぬれて いて すべりやすく、ころぶと 大きな けがに なるからです。

二つ目。プールに 入る 前には、じゅんび体そうを しっかり します。急に つめたい 水に 入ると、体が びっくりして、足が つる ことがあるからです。

三つ目。先生の ふえが 二回 鳴ったら、すぐに プールから 上がります。体の ちょうしを たしかめる ためです。

この 三つを 守れば、楽しく 安全に およげます。

メモのれい

- ① 走らない (すべる→大けが)
- ② 入る前 じゅんび体そう (足がつる)
- ③ ふえ2回→すぐ上がる (ちょうし見る)

こたえと かいせつ

(1) ア

「ぬれて いて すべりやすく、ころぶと 大きな けがに なるからです」と 言って いました。

(2) じゅんび体そう

「プールに 入る 前には、じゅんび体そうを しっかり します」の 部分です。

(3) ア (足が つる)

「体が びっくりして、足が つる ことがあるからです」と 言って いました。

(4) 二回

「先生の ふえが 二回 鳴ったら、すぐに プールから 上がります」の部分です。